

令和2年度第3回ふじさわ人権協議会

委員からのご意見等

委員 (敬称略)	1 令和2年度各課職員の人権意識啓発に関する取組報告書について		2 令和2年度人権施策推進事業の実施結果及び研修会・講演会等の参加状況について		3 令和3年度人権施策推進事業実施計画(案)について		4 その他		5 その他全体について		6 第7期ふじさわ人権協議会を振り返って(感想を一言お願いいたします)	
	承認	意見等	承認	意見等	承認	意見等	承認	意見等	意見等		意見等	
片岡 理智	○	今回、初めて各課から「テーマ設定にあたり、委員からのコメントを参考にしたか」のアンケートを拝見いたしましたが、各課と私どものコミュニケーションを向上させる上で、とてもいいツールだと思います。全体的には、パートナーシップ宣誓制度の導入が迫るなか、セクシュアル・マイノリティの人権を取り上げたところが多い印象で、これまで踏み入れたことがなかった領域をたくさん職員が学べたことは、とても喜ばしいと思います。人権意識啓発の取組は、本務と関連して進めやすい課とそうでない課があります。本務でもとかく「接遇」に関連づけがちですが、16の契約課、18の検査指導課は、事業者に対して調査などを行いながら就労者の人権についての意識を高めています。また、17の管財課は、職員自らのワーク・ライフ・バランスについて取り組みましたが、課内会議、ランチミーティング、席替え、ストレスチェックなどさまざまな方法を駆使された点がユニークだと思います。加えて、18の検査指導課は、取組理由に「最近、タレントやドラマ(メディア)でも身近となっている性的少数者をテーマに」と書かれていますが、メディアなどで話題になっていることをきっかけに、意識啓発をする、みなさんで話し合いをする、という糸口は、非常にわかりやすいのではないかと思います。	○	新型コロナの影響で、多くの事業が中止となったり、リモートとなったことは残念です。しかし、ダニエル・カールさんの講演会のアンケートにもあったように、家にいながら参加できること、何度でも都合のよい時に見られること、など肯定的な要素もあるかと思うので、こうした点は、今後実際にイベント等が開催できるような状況になった時にも、後からビデオで鑑賞できるようなシステムができればよいと思います。	○	人権協議会に関しては、おそらく人権指針改訂に向けての動きかと思いますが、専門部会が実施されるようですね。8月の分は「第2回」でよろしいでしょうか。コロナ禍、オリパラの年とはいえ、つつがなくすべての事業が実施できることを願っております。	○	「パートナーシップ宣誓制度」の構築、大変お疲れさまでした。これを第一歩として、今後さらにより制度となるよう、ブラッシュアップしていかれることを期待します。	少しずつですが着実に人権意識が根付いて来ているのを感じます。皆様のご努力に感謝いたします。		新型コロナウイルスのため、なかなか会議が開催できず、また人権関連の研修やイベント等リモートになるなど、難しい取組となりました。その一方で、各課職員の人権意識啓発に関する取組なども、かなり定着し、職員の人権意識も少しずつ向上してきているのを感じます。世間的にはこの間、コロナ罹患者や医療関係者への差別など新たな問題が出現しましたが、オリパラを機とした元首相の女性差別発言やディレクターの女性の容姿差別発言などへの反発から、大きくジェンダー平等へと動きつつあるように思います。来期は人権指針の改訂が待ち受けておりますので、みなさま引き続きどうぞよろしく願い申し上げます。	
森 さち子	○	「インターネットにおける人権」、「セクシュアル・マイノリティの人権」を選んだ課が増加したことは、まさに現実的なテーマとして、意識が高まっていることの現れであると思います。来年度にどうつながるか、興味深く注視したいと思います。	○	コロナ禍の状況でなくとも、さまざまな事情で、会場に足を運べない参加希望者も多いと思われるので、今後は、同時、もしくは時間が異なっても視聴できる動画配信を多用していくことをお願いしたい。	○	人権協議会の委員も参加する専門部会などにおいて、状況によっては、オンライン参加を認めていただけると、ありがたいと思います。	○	特にありません	特にありません		実際にお会いできる機会が少なかったのは残念でしたが、スムーズにお取りはからいいただき、感謝しています。	
深田 独	○	消防局予防課(109)のとりにくみが印象に残りました。新型コロナウイルス感染者の救急搬送やPCR検査に従事した職員が、家族や同僚からどのような対応を受けたかを当該者から聞き取り、新型コロナウイルスをめぐって「差別されること」「差別すること」について課内で検討分析するというとりにくみをされたそうです。その結果、自己防衛のために差別意識が生まれることがあること、正しい情報が得られないことによって差別意識が助長されること、などを学んだとのことでした。	○	新型コロナウイルス感染症が拡大するなかでも、職員の皆さんが可能な限り研修会などに参加されたこと、また講演会などの主催事業を動画配信などによって実施されたことを評価いたします。	○	新たな人権課題をくわえた「藤沢市人権施策推進指針」の見直しに期待しています。	○	「藤沢市パートナーシップ宣誓制度」の意味と意義が広く知られるように、ぜひ広報・周知にとりこんでくださいますようお願いいたします。	特にありません		大変に勉強になった1年間でした。ありがとうございました。皆さんと直接お話しする機会が1度しかなかったのが残念でしたが、来年度は社会状況が改善して、協議会で皆さんとお会いできるようになればと期待しています。	
市川 ジョバンニ	○	新型コロナウイルス感染防止のため講演会、研修会の開催が制限され、また在宅勤務等今までは違う環境の中で、日々の朝礼やメールの活用により人権意識啓発に取り組んでいたことがわかりました。新型コロナウイルス感染対策が必要な状況がいつまで続くか不明ですが各課色々な方法を採用し活動行っておりますので情報共有していただき効果的な活動を続けていただけますようお願いいたします。	○	参加人数を比較すると前年度に対して大幅減ですが、新型コロナウイルス感染防止のため致し方ないことと思います。	○	実施回数等例年に従った物と思います。未定の内容についてはコロナ禍後の社会状況を見て時世に合ったテーマの選定をお願いいたします。	○	同性婚を認めないのは違憲であるとの札幌での判決もありセクシュアルマイノリティに対する関心が高まっています。その中で「藤沢市パートナーシップ宣誓制度」が開始されることは藤沢市の人権に対する取り組みの先進性をアピールする効果があると思います。	人権施策の推進は「誰もが暮らしやすい町」が目的だと思います。何も施策をせずに実現は出来ません。障がいのない方には何が障がいなのかを理解するのが難しいのではないのでしょうか。困難を感じている方から意見を聞きどのような困難があるか知る必要があります。社会全体に対して微々たる力と思いますが推進のお手伝いさせていただいたことを感謝いたします。		新型コロナウイルス感染拡大の影響で社会の在り方が大きく変化した1年と思います。新型コロナ感染者に対する対応問題の顕在化も見られました。暮らしやすい町に近づいたかどうかはコロナ禍が過ぎた後にわかることだと思います。社会全体に対して微々たる力と思いますが推進のお手伝いさせていただいたことを感謝いたします。	
前田 貴美子	○	私の担当は、保育園など子どもに関する部署が多かったのですが、コロナ禍で、家庭も職場でも様々な問題から避けることの出来ない過酷な一年だったと思います。集まって話し合いもできない、そのような中でも一人ひとりの思いを大事に工夫をしながら、人権に配慮した取り組みがなされていたようでした。様々な工夫、手法で前向きに意識が高められています。その中で、にこやかクレドの取り組み、人権チェックシートの作成取り組み、藤沢市人権施策推進指針などからの取り組み、どれをとっても大事なものが、「職場に当てはめて確認する機会もあるとよかった」との保育園の効果反省面での書き込みに頷けました。工夫できる場所があるように思えます。保育園での活動に「すてきななかま」を歌うとありましたが、優しい気持ちになれる歌詞なので、是非、どの保育園で共有して誰でも歌えるようになることを希望します。	○	コロナ禍で、参加者が少なかったのは致し方ないと思われれます。ITを活用した取り組みは今後も広がっていくと思いますが、自分自身は、いつでも参加できると思い、つい見逃してしまいました。反省です。	○	特にありません	○	パートナーシップ宣誓制度が導入されるなど開かれた藤沢市の姿勢が見られ安心しました。	特にありません		まだまだ生きづらさを感じている人を誰ひとり取り残さないために『ふじさわ人権協議会』の必要性を感じる一年でした。私的な報告ですが、今期で委員を降ろさせていただくことになりました。とても良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。これからは『ふじさわ人権協議会』のご活躍を期待し応援させていただきます。	

委員 (敬称略)	1 令和2年度各課職員の人権意識啓発に関する取組報告書について		2 令和2年度人権施策推進事業の実施結果及び研修会・講演会等の参加状況について		3 令和3年度人権施策推進事業実施計画(案)について		4 その他		5 その他全体について		6 第7期ふじさわ人権協議会を振り返って(感想を一言お願いいたします)	
	承認	意見等	承認	意見等	承認	意見等	承認	意見等	意見等	意見等		
宮部 美佐子	○	<p>今年度はどの課も新型コロナウイルスの影響で、課内研修開催に苦勞されていましたが、それぞれに工夫されて、人権意識向上の取り組みをされています。福祉医療給付課のように朝礼時に情報共有と意見交換まで行った課や地域包括ケアシステムのようにポスターや動画を作成して研修を行った課も有りました。また地域保健課の自分たち職員も差別される側になる得る世の中の状況で、人権が身近な問題だと改めて感じたというコメントが印象に残りました。課により人権意識の差が有ると思いますが、全体には職員の人権意識は向上していると思います。課の担当者が研修の為に作成された動画等の資料を、他の課でも利用しているのですか？</p> <p>(いただいたご意見について)</p> <p>地域包括ケアシステム推進室に確認したところ、動画はカラフルふじさわに投稿しており、要望があれば、他課が利用することは可能とのことです。</p>	○	特にありません	○	特にありません	○	藤沢市で4月1日から制度が開始できることになり、本当に良かったと思います。職員の皆様、お疲れ様でした。	特にありません		○	新型コロナウイルスに影響された1年で、ほとんど参加できず、申し訳ありませんでした。「患者等の人権」がクローズアップした1年だったと思います。
戸高 洋充	○	特にありません	○	特にありません	○	特にありません	○	特にありません	「参考資料2」の「各課へのアンケート結果」について我々が書いた意見をどのように各課が受け止めているか、以前から気になっていましたが、今回、前年度の意見に対して、「参考になるか」、それをどのように参考にしたのかのアンケートがあり、表面上ではあるが、一方通行ではなく、互いの意見のやり取りができることは非常に大切だと思います。事務局の皆様ありがとうございます。		○	後半、コロナ禍の中で、対面の会議ができなくなり残念でした。コロナ感染による差別が、色々な場面であることがニュースになり、色々な社会問題で人権が脅かされることを身近に感じ、常にこの問題(人権)に対して考えていく必要がある、と痛感させられました。
木村 千裕	○	今後も人権意識啓発に関する取組を積み上げ、職員一人ひとりの人権意識向上を図っていくことを期待しています。	○	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、研修会や講演会等の開催に難しさがあったことと思います。その中で、人権啓発講演会を動画配信により開催するなどの、新たな方法を試みたことは、今後の事業の推進に向けてプラスになったことと思います。	○	令和3年度に設置の専門部会について、ふじさわ人権協議会委員の中から5名が属する予定とのことですが、個人としては、現在の年間3回の協議会に加え、年間4回の専門部会への出席については難しい状況です。	○	先日、「同性婚が認められないのは憲法違反」とする訴訟において、札幌地裁が憲法第14条に反するとの判断を示しました。今後、多様性を認め合う社会の実現に向けた流れがより一層大きくなっていくことが予想されます。そうした中、「藤沢市パートナーシップ宣誓制度」が4月1日より開始されることは先進的な取組として評価されるものと考えます。	特にありません		○	「人権」は誰もが心で感じ理解できるものであると考えます。そのためには、それぞれの立場を知る機会が必要になります。「人権施策推進事業」や「各課職員の人権意識啓発に関する取組」により、広く市民や職員などに対して「人権」について知り、考えを深める機会を用意されていることが伺えました。こうした継続した取組が知識だけでなく、行動への変容となる人権感覚を身に付けていくことにつながると考えます。
岸本 寛之	○	<p>各課の職員の方々が真剣に、人権意識啓発・向上の取組をされていることがよくわかりました。</p> <p>前回も同趣旨の発言をいたしましたが、一覽でまとめられた書面のみからコメントを行うのではなく、何か具体的な活動の一端にだけでも触れたうえでコメントをしたい、という思いがあります。</p> <p>たとえば、年度はじめにコメント分担を割り振っていたとき、1年間、その分担された課の活動を見守ること(活動の様子の写真を見る、職員が提出された感想レポートの中から代表の1部を拝読する等)ができないか、各課の方々や事務担当(人権男女共同平和課)の方々の負担が増えない範囲で、何か方策があればよいと思います。</p> <p>担当させていただいた課の普段の業務についても、私自身ももう少し理解を深める必要があることも感じております(藤沢市ホームページの担当課の業務は拝見いたしました)</p> <p>(いただいたご意見について)</p> <p>コメント分担につきましては、令和3年度は第1回協議会で割り振りを決めさせていただければと存じます。</p> <p>一覽でまとめた書面以外に、どのような意見や感想があったのかなど、何か必要なものがありましたら、お知らせいただければ、各課に問い合わせで提出可能なものは提出してもらおう等の対応をさせていただければと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>	○	特にありません	○	特にありません	○	特にありません	特にありません		○	就任1年目、コロナ禍でふじさわ人権協議会の3回中2回が書面開催となりましたこともあり、まだまだ当協議会の活動、藤沢市の人権課題への取組の様子など、理解しきれていないところが多々ございますが、今後、もっと理解を深めていければと思っております。よろしく願いたします。

委員 (敬称略)	1 令和2年度各課職員の人権意識啓発に関する取組報告書について		2 令和2年度人権施策推進事業の実施結果及び研修会・講演会等の参加状況について		3 令和3年度人権施策推進事業実施計画(案)について		4 その他		5 その他全体について		6 第7期ふじさわ人権協議会を振り返って(感想を一言お願いいたします)	
	承認	意見等	承認	意見等	承認	意見等	承認	意見等	承認	意見等	承認	意見等
宮城 宏之		特にありません	<input type="radio"/>	特にありません	<input type="radio"/>	特にありません	<input type="radio"/>	特にありません		特にありません		人権に関する取組は、地道ではありますが、必要なことなので、続けていかなければならないと思います。一步一步進めていくことが大切だと感じました。
加藤 亨雄	<input type="radio"/>	9割の課が「コメントを参考にした」という回答をしています。微力ながらお役に立てたと、ささやかな喜びを感じています。 各課取組結果のテーマ分類を見ると、偶然かもしれませんが、今年度も昨年度も1位～5位まで順位は全く同じで、件数もほぼ同じです。1位の「就労者の人権」はワークライフバランスを取り上げるケースが多く、身近なテーマであることは理解できます。2位から5位はどうしてこの順になるのか、考えてしまいました。	<input type="radio"/>	コロナウイルス感染症対策上中止や参加者が少ないのはやむを得ないと思います。	<input type="radio"/>	特にありません	<input type="radio"/>	特にありません		特にありません		公募委員として2期4年担当させていただきました。活動を通して人権について多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。
岸谷 一則	<input type="radio"/>	コロナ禍での日常業務とは異なる中、各課意欲的に取り組まれましたことを高く評価致します。尚、資料1-2のテーマ分類⑧就労者の人権が例年圧倒的に多く、私のコメント担当でも複数ありました。職員の人権は勿論、重要なのですが、視点としては人事マネジメント(交流)、組織管理なのではと思うところです。内部人事の向上は別の角度から取り組まれてみてはと思います。	<input type="radio"/>	コロナ禍やはりやむを得ませんが貴重な研修会・講演会の多くが中止になったことは大変残念です。中止になった企画は可能な限り何らかの形で実現されることを望みます。	<input type="radio"/>	藤沢市パートナーシップ宣誓制度が始まりますので、是非とも研修、講演等の企画を組み込んでいただければと思います。また、7月と2月に同和対策事業推進区市町村連絡会研修会があり、委員の中にも専門の方がおられます。私自身、勉強不足で殆ど実態を把握しておらず例年の各課取り組みでも少ない状況です。委員としてどうアクションすべきなのかご提言いただけることを望みます。	<input type="radio"/>	藤沢市パートナーシップ宣言の開始は素晴らしい取り組みの第一歩であると思います。片岡会長が毎回熱心に提言された成果であると思います。今後更なる内容(精度)の向上をご期待致します。		次年度は、ふじさわ人権協議会専門部会が表記されています。更に藤沢市の人権意識が高まることをご期待致します。		市民委員として2期4年の任期を無事終えることが出来ましたこと事務局並びに委員各位に心より感謝申し上げます。各課の人権意識啓発のコメントは毎年同じ課を担当させて頂きましたのでその推移(進捗)をみる事が出来、各課年々意識が高まるのを見ることが出来ました。今年は特にコロナ禍にも関わらずどの課も優れた取り組みをされたことに感銘を得ました。皆さんの取り組みが藤沢市全体に反映普及することを心より願っております。